

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価（ 月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①確かな学力の育成と、生徒が課題を発見し解決に向けて主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせるカリキュラムマネジメントを行う。 ②デジタル社会で求められる力を身に付け、文理横断的・探究的な学びを充実させ、生涯にわたり挑戦し学び続ける力の基礎を培う。	①基礎的な知識や技能の定着を図るとともに、自らが課題を発見し、それを解決しようとする姿勢を育む。フォローアップ週間や学習支援アプリの活用を促し、生徒の家庭学習習慣の定着に努める。 ②様々なICTの活用や適切なデータ処理の知識・技能を身に付け、探究的な学びを充実させる基礎を培う。	①各教科科目の授業において、探究的な学びの視点を取り入れた授業改善に取り組む。フォローアップ週間の実施形態や学習支援アプリの授業外での活用方法を検討し、定期試験の直前だけでなく日頃から主体的に学習する仕組みを整える。 ②整備したICT機器を総合的な探究の時間を中心に生徒が必要に応じて利用できるような仕組みを整え、ICTの活用及びデータ処理が行える知識・技能を身に付けさせる。	①生徒による授業評価アンケートの、「課題解決」に関わる項目で肯定的な回答の割合が増加したか。フォローアップ週間、学習支援アプリについて生徒の活用する意識が育まれたか。 ②整備したICT機器に関して、生徒の積極的な利用を推進できたか。探究的な学びに活用できたか。					
2	生徒指導・ 支援	①誠実で良識ある有為な人材の育成をめざし、自他の人格や個性を尊重する協調性を涵養する。 ②生徒に寄り添い心身ともに健康な生活が送れるように支援を行う。 ③部活動や学校行事等を通じて、生徒が主体的に関わりをもち、他者との協働する力を育み、達成感や自己肯定感の醸成となる指導・助言を行う。	①正しい行動やマナーについて、生徒自身で考え、生徒同士で指摘しあい、地域の一員としての意識を涵養する ②教育相談体制を充実し、適切に生徒へ情報を提示していく。また、職員間で情報共有を定期的に行い、支援体制を整備するとともに、安全で安心な環境作りに努める。 ③部活動や学校行事等の全ての活動において、主体性を育み、支援する。	①服装、自転車や公共交通機関でのマナー、SNSの使い方等について段階的かつ継続的な指導を行う。また、生徒同士で指摘しあえるよう指導する。 ②定期的に生徒情報共有会を開催し、生徒の適切な支援体制の充実に努める。また、学校生活におけるアンケート結果を共有し、適切な支援方針を打ち出していく。 ③生徒会本部役員会や部長会、委員会等を定期的に開催し、学校行事や部活動における生徒の主体的な活動を支援する	①登下校時等の服装やマナーに関する指導件数及び地域住民からの指摘が減少し、地域社会の一員としての規範意識が育まれたか。 ②コーディネーター会議を中心とした支援体制が整い、適切に情報と方針の共有ができたか。また、学校生活におけるアンケートから適切な支援ができたか。 ③職員から指示を与える場面が減り、生徒達が考え自発的に行動することができたか。					
3	進路指導・ 支援	①生徒が自らの生き方について主体的に考え、多様な選択肢の中から将来の道を切り拓けるキャリア教育を行う。 ②社会の一員として、自己肯定感をもって社会で活躍できる人材を育み、卒業後のビジョンを明確にする。	①幅広く経験を積み、自らの可能性を広げ、高い目標を設定できるようにするとともに、課題を発見し、解決に向けて主体的に取り組む力を育成し、自分自身のキャリアにつなげる。 ②社会との関わりを意識させ、他者と協働しながら学びあう態度と生涯にわたり挑戦し続ける力を育み、社会で活躍できる人材育成に努める。	①学校内外の活動等においてキャリア教育を計画し、生涯学習につながる活動にするとともに、その過程で高い目標を設定し進路実現に向け目指す自己像を意識させる。 ②進路ガイダンス等で、キャリア教育について主体的に考え、取り組める体験の充実を図り、キャリアパスポート等で目標設定・振り返りを行う。	①様々な学校内外の活動等で培った主体的な学びが、進路実現の活動に活かされ高い目標設定での進路実現ができたか。課題を発見し、解決に向けて計画・行動できたか。 ②進路ガイダンスやキャリアパスポートによる振り返りの中で、自己分析し、次のステップへの蓄積ができたか。また、蓄積した内容を次の活動につなげることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価 ( 月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	①地域での学校の役割を意識し、地域との連携・協働を深め、地域のニーズに応え、地域の活性化に貢献できる開かれた学校づくりに取り組む。	①学校コミュニティをつくるため、地域活動を積極的に行う。 ②生徒や保護者、地域のニーズに応じて、速やかに学校の情報を発信・伝達し、より良い学校づくりを行う。	①地域との連携・協力を積極的に行い、地域との関係性を、より良い学校づくりへ活かす。学校行事等、地域との交流の機会となるよう、開かれた学校づくりを進める。 ②-1 I C T機器や情報伝達アプリを活用して、生徒や保護者への速やかな情報伝達に努める。ホームページの更新回数を増やし、掲載内容等の工夫・改善を行い、速やかに発信していく。 ②-2 地域貢献デー、遊 ing 西高等に多くの生徒が主体的に参加し、地域との交流の機会を増やす。	①地域との交流の機会を設定し、参加人数や活動場所が増加したか。保護者・地域から寄せられた情報・意見により学校運営が改善されたか。 ②-1 生徒・保護者への適切な情報提供を行うことができたか。ホームページ更新回数とともに内容の充実が見られたか。 ②-2 地域貢献デーを計画通り実施できたか。遊 ing 西高を生徒の主体的な計画で実施できたか。多くの参加者があったか。					
5	学校管理 学校運営	①生活全般の安全意識を高め、自らの命を自ら守る防災意識を育む。 ②豊かな心を育む環境整備に努める。 ③ I C T利活用のインフラや新たなコンテンツ導入を中心とした整備を行う。	①学校全体で防災意識を高める指導を行い、災害時に備えて準備を進める。 ②校内や校舎周辺の環境の整備・美化について、保護者と連携しながら生徒の意識を高め、学校を大切にすることを育む。 ③グループ業務、教科等、学校教育活動の中で、さらに I C Tの利活用を進め、効果的活用例を検討する等、より具体的で、組織的な取組とする。	①年2回の防災訓練を通して、自らの命を守る行動や社会に貢献する態度の自助・共助・公助の考え方を育てる。 ②P T Aの協力を得て校内外の環境整備に努めることや、生徒環境整備委員の清掃点検や職員による清掃への呼びかけ・点検を実行し、日頃の環境美化意識を醸成する。 ③ I C T利活用を継続発展させていくため、より効果的な活用をめざし通信環境、備品の整備を行う。	①防災計画に基づいて、実践的な防災訓練を実施し、生徒や職員の防災意識が高まったか。 ②P T A環境整備委員会との連携を取ることができたか。また、生徒環境整備委員や職員の働きかけにより、校内各箇所が適切に清掃され環境美化意識が醸成されたか。 ③通信環境の改善や新たな I C T利活用が見られたか。					